



子どもたちの砂場をリニューアル



12月2日(金)に株式会社石繁小川石材店(押越)より、日吉小学校の砂場へ砂を5トン寄附していただきました。学校職員らは「砂の量が少なくなっていたので、補充していただいたおかげで子どもたちが安全に砂場を利用できます」と感謝の意を表しました。

リニューアルした砂場が披露されると、児童たちからは「ふかふかの砂場で嬉しい」「みんなで楽しく使います」という喜びの声が聞こえ、さっそく砂場を利用して楽しそうに幅跳びの学習をしていました。

全国制覇、笑顔で報告



11月20日(日)に東京都で開催された第16回JKO全日本ジュニア空手道選手権大会において優勝したことを報告するために、桜塾の松田流誠選手と岩永唯伽選手が12月8日(木)に大橋孝町長を訪問しました。

優勝した二人は「これからも攻める姿勢を忘れずにいきたい」「高校へ進学し、年上と戦うことになるが、その中でも勝っていきたい」と先を見据えました。大橋町長は「これからは追われる立場になりますが、勝ち続けるためにより一層精進してください」とエールを送りました。

南海トラフ地震の発生に備えて



12月11日(日)に上多度プラザにて、上多度地域自治町民会議による地域住民を対象とした地区防災訓練が開催されました。参加者は、岐阜地方気象台による地震についての講座と、建設課による水防監視員の役割についての講座を受け、地震とはどのようなものなのか学びました。また、地震体験や防災資機材展示、初期消火訓練を通して、いっどこで起こるかかわからない地震への備えや発生時に取るべき行動、地震発生後に火災が起きた場合の初期対応など、自分の生命や財産を守るための行動を学びました。

共生社会を目指して



12月5日(月)に広幡小学校で全校児童を対象に、パラリンピックメダリストの永尾嘉章^{よしふみ}さんが講師となり「あすチャレ!スクール」(主催:日本財団パラスポーツサポートセンター)が開催されました。この取り組みは『他者のことを自分ごととして考える心』『障がいとはなにか?』『可能性に挑戦する勇気』『夢や「目標」を持つ力』の4つの学びを伝えるために実施しています。

永尾さんは「身体が悪いことが「障がい」ではなく、身体が悪いことで、できないことがあるのが「障がい」となります。自分がたやすくできることでも、できなくて困っている人を見かけたときには、受け入れ、ぜひ助けてあげてください。それが共生社会への一歩となります」と呼びかけました。